

授業科目名	ハンドリングⅠ		科目コード	2302014	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	ペット美容・グルーミング	学年	1年
担当教員	飯田 慎司				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 JKC公認トリマー教士 神戸市でトリミングサロン経営 日本はもとより、海外でのドッグショーでのハンドラーとして現在も活躍されており、実技指導はもちろん海外のトリミング事情にも詳しい。				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	31時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選択 ・ 選択必須		単位数	1単位	
使用テキスト1	書名	ハンドリング マニュアル			
	著者	森 喜夫、他			
	出版社	社団法人 ジャパンケネルクラブ			
使用テキスト2	書名				
	著者				
	出版社				
参考図書	全犬種標準書				
授業形態	講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ハンドリングを学ぶことで、更に犬への理解を深め、「見せる」ことの重要性身に付けることで、それらをトリミングに活かしていく					
<授業の概要・授業方針> 犬の体の構造、ショー用のグルーミングの知識まで幅広く学習することで犬に関する理解を深め、リードワークなどの実践を行う事で犬との「親和」を確立することの大切さを学ぶ。以上のハンドリング学の知識をふまえてトリミングの際に犬を正しく立たせることを身に付ける					
<成績基準・評価基準> 出席率及びグルーミング実習の実技試験の評価基準である「犬の扱い」に「犬を正しく立たせるスタック」を評価基準とし加えて採点を行う。10点満点で8点以上は「優」7点は「良」6点以下は「可」とする。出席率：100%～95%以上「優」、95%未満～90%「良」90%未満～80%「可」とする。					
<使用問題集・注意事項>					
<関連科目他> 犬学、グルーミング理論、グルーミング実習					

授業科目名		ハンドリング I
回	授 業 内 容	備 考
1	グルーミング実習において犬をスタックさせる	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14	↓	
15	前期試験	
16	グルーミング実習において犬をスタックさせる	
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	↓	
30		
31	後期試験	